

第4章 総括

第1節 調査地点の様相について

今回の調査区は2019年度調査区の北西および第633集調査区の西に位置する。調査の結果、縄文時代の溝状土坑を検出し、縄文時代の土器・平安時代の土師器・近世以降の陶器が出土した。

遺構・遺物の検出・出土状況から、縄文時代の狩猟場は三保川に面した遺跡南端のみでなく、遺跡北半にも広がっていたことが判明した。また、平安時代以降の土地利用痕跡が希薄であることを確認した。特に、2019年度調査区および第633集調査区で検出した平安時代の集落域が本調査区まで広がっていないことが明らかになった。

(平山)

第2節 溝状土坑について

2019年度の発掘調査で検出された42基の溝状土坑のうち8基から遺物が出土し、そのうち5基から土器（早期前葉）が総重量373.1g出土した。これらについては、溝状土坑内からの出土遺物が埋没過程すべて自然流入した遺物で、遺構の時期決定に欠くため遺構外遺物として記載され、帰属時期不明とされたが、遺構外出土土器に縄文時代中期から後期および晩期の土器があることと、福田の論文（福田2018）を引用して、「形態も同様であることから、少數ながら縄文時代中期後葉～後期前葉（十腰内I式）の土器片が（遺構外から）出土していることから、近い時期に属すると推察される」と記述している（青森県教育委員会2021a）。

本調査で検出した4基の溝状土坑のうち3基の堆積土中からも土器片が出土している。第43号溝状土坑から胎土に纖維を混入する縄文時代前期頃の土器片が1点、第45号溝状土坑から縄文時代中期以降に比定される土器片が1点、第46号溝状土坑からは粗製土器片で詳細な時期の特定にまで至らないが、およそ縄文時代中期中葉以降と判断される土器片が13点（341.8g）出土している。

これまで溝状土坑については多数論じられており、それらと同様に、その機能・形態・配置・構築帰属時期に関しては大きく逸脱するものではない。また、溝状土坑内出土遺物についてもすべて遺構廃絶後の埋没過程で疑いなく自然流入したものと評価されている。本調査例も自然流入したものと判断しているが、第46号出土土器については本遺構の周辺に13点もの破片が混入する要因が全く見受けられないにも関わらず、複数の個体破片がほぼ同一地点から出土している。

溝状土坑内から数点（1～2点）の遺物（土器）出土は、複合遺跡や遺構検出数の多い遺跡の場合、何らかの過程で自然流入したものとして、注視されるものでは無くなっている。しかしながら、複数個体が出土する例は、県内で最多の検出をみる六ヶ所村発茶沢遺跡でも、431基のうち2基だけである（青森県教育委員会1982）。本第46号溝状土坑出土の土器について、人的混入（土器片の廃棄、土砂を伴う混入）とする根拠は無いが、複数の個体破片がほぼ同一レベルで出土していることに注目したい。

(小田川)

引用・参考文献

- 青森県教育委員会 1973 『むつ小川原開発予定地域内埋蔵文化財分布調査報告書』
青森県埋蔵文化財調査報告書 第1集
- 青森県教育委員会 1982 『発茶沢遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第67集
- 青森県教育委員会 1986 『田名部道』青森県「歴史の道」調査報告書
- 青森県教育委員会 1994 『青森県遺跡詳細分布調査報告書VI』青森県埋蔵文化財調査報告書 第165集
- 青森県教育委員会 2019 『青森県遺跡詳細分布調査報告書31』青森県埋蔵文化財調査報告書 第605集
- 青森県教育委員会 2020 『青森県遺跡詳細分布調査報告書32』青森県埋蔵文化財調査報告書 第615集
- 青森県教育委員会 2021a 『林ノ脇遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第620集
- 青森県教育委員会 2021b 『百目木（3）遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第622集
- 青森県教育委員会 2022a 『吹越（2）遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第628集
- 青森県教育委員会 2022b 『青森県遺跡詳細分布調査報告書34』青森県埋蔵文化財調査報告書 第632集
- 青森県教育委員会 2023 『林ノ脇遺跡II』青森県埋蔵文化財調査報告書 第633集
- 青森県史編さん近現代部会 2002 『青森県史 資料編 近現代1』
- 青森県史編さん近世部会 2001 『青森県史 資料編 近世1』
- 青森県史編さん近世部会 2003 『青森県史 資料編 近世4』
- 青森県史編さん考古部会 2005 『青森県史 資料編 考古3 弥生～古代』
- 青森県文化財保護協会 1965 『新撰陸奥国誌』第四卷 みちのく双書第18集
- 角鹿扇三・渡辺兼庸 1980 『角鹿扇三 蔽集考古学資料集』
- 南部叢書刊行会 1929 「邦内郷村志 卷五」『南部叢書』第5冊
- 福田友之・工藤清泰・木村浩一 1986 「南部町聖寿寺館・十和田湖町三日市館・横浜町牛ノ沢館跡等発見の陶磁資料」『弘前大学考古学研究』第3号 弘前大学考古学研究会
- 福田友之 2018 『東北北部先史文化の考古学』同成社